

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C25

申請日	2016/8/26	承認日	2016/10/17	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

FOLFOXIRI	病名	大腸癌	外科	提出医
対象	切除不能の進行・再発の大腸癌 1次治療以降			

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div, iv, po等)	投与スケジュール(日)															
			1	7	15	20	22	25	30									
レボホリナート	200mg/m ²	div	○															
イリノテカン塩酸塩	150mg/m ²	div	○															
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○															
フルオロウラシル	2,400mg/m ²	civ	○→															

投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース

←————— 1コース —————→

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

*治療開始前に、UGT1A1の遺伝子多型を調べておくこと。

*多量の腹水・胸水のある患者、イレウス患者等には禁忌(詳しくは添付文書を参照)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mLアロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート12mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液100mL /div 30分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液250mL+イリノテカン /div 1時間

- ⑤ メイン【白】5%ブドウ糖液250mL+オキサリプラチン /div 2時間
⑤' Y側管【水色】5%ブドウ糖液250mL+レボホリナート /div 2時間 } 同時に
⑥ メイン【黄】生理食塩液1000mL+フルオロウラシル2400mg/m² /civ 46時間
⑦ 【ルアーロック】ヘパリンNaロックシリンジ（終了後ポートフラッシュ）

※ インフューザーポンプ使用の場合(外来化学療法)

携帯型⑥' 生理食塩液100mL+フルオロウラシル

(生食の量は最終用量が140mLになるように薬剤科で調整) /div 46時間 (3.7mL/hr)

制吐剤セット処方⑮

Day2~4 デカドロン4mg 2錠(分1 朝食後)

参考文献 Sunakawa Y, et al; Oncology 82: 242-248, 2012